

京都広告協会創立70周年記念「アド・フォーラム2026」

時代を紡ぐ広告

—昭和・平成・令和 広告の“温故知新”—

昭和以降、「時代を映す鏡」としての広告が果たしてきた機能や、
今後の方向性・可能性を考察するフォーラムを開催します。

日時 令和8年3月25日(水) 13:30-16:00 (開場13:00)

会場 からすま京都ホテル 2階 双舞の間
(京都市下京区烏丸通四条下ル)

定員100人
参加無料

【講演①】

「レナウン・イエイエ」とはなんだったのか。

—日本のテレビCM表現：昭和の画期を探る

竹内 幸絵氏 (たけうち・ゆきえ)

同志社大学社会学部教授

サントリーミュージアム[天保山]学芸員を経て現職。専門は広告史、デザイン史、メディア論。昭和戦前期の印刷メディアのデザイン史『近代広告の誕生—ポスターがニューメディアだった頃』(青土社、2011)で評価され、昨年、昭和のテレビCM史『広告の昭和—テレビCMがやって来る!』(青土社、2025)を上梓。その他の編著に『芸術と社会—近代における創造活動の諸相』(森話社、2025)、『開封・戦後日本の印刷広告:『プレスアルト』同梱広告傑作選(1949-1977)』(創元社、2020)、『広告の夜明け—大阪・萬年社コレクション研究』(思文閣、2017)など。



竹内 幸絵氏

【講演②】

「広告」という仕事の可能性

菅野 薫氏 (すがの・かおる)

(つづく) Creative Director、Creative Technologist

2002年、㈱電通入社。データ解析技術の研究開発職や、電通総研での主任研究員を経て、2013年クリエイティブ部門へ異動。デジタルテクノロジーと表現という専門性を活かして国内外のクライアントの商品サービス開発、広告企画制作など、幅広い業務に従事。2022年1月、㈱電通から独立して、クリエイティブ・ディレクター・コレクティブ(つづく)を設立。経営戦略や事業戦略の立案、広告制作、プロダクト・サービス開発をはじめとしたデザイン、エンターテインメントの領域のクリエイティブ・ディレクションを中心に活動をしている。



菅野 薫氏

【トークセッション】竹内 幸絵氏×菅野 薫氏

●参加希望者は、氏名・住所・電話・年齢・職業を明記のうえ、はがき・FAX・電子メールで下記へお申し込みください。

先着100人に聴講券を送らせていただきます。※ご応募いただいた個人情報は、聴講券の発送のみに使用いたします。

〒604-8567 京都市中京区烏丸通六角下ル(ONEST京都烏丸スクエア内) 京都広告協会

FAX 075-223-5752 / 電子メールアドレス: kyoto-ad@mist.ocn.ne.jp

〈問い合わせ〉京都広告協会 TEL 075-241-5910

【主催】京都広告協会

【後援】京都商工会議所 京都広告業協会 京都広告懇話会 公益財団法人 大学コンソーシアム京都

【協力】公益社団法人 全日本広告連盟



京都広告協会